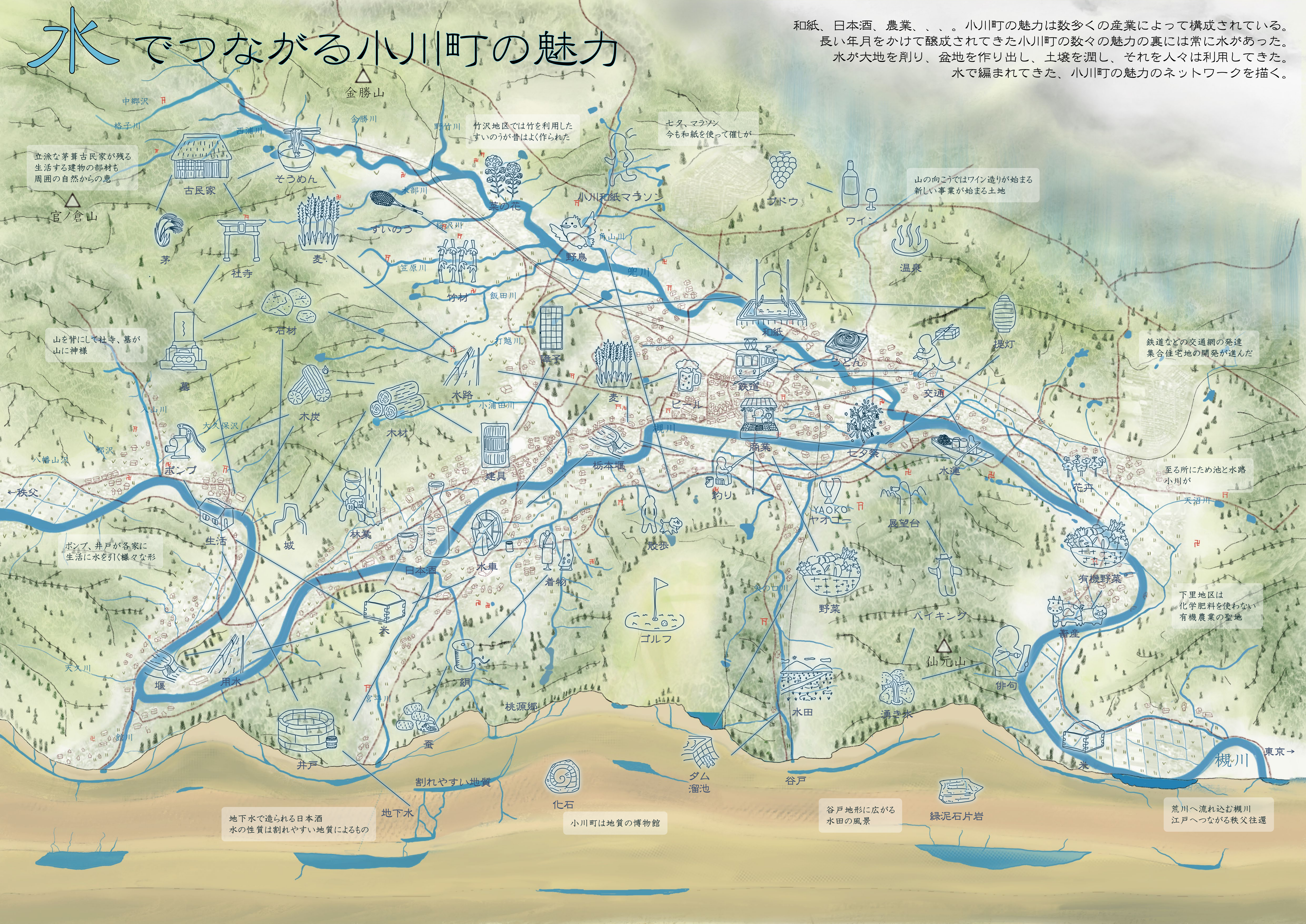


水 でつながる小川町の魅力

和紙、日本酒、農業、、、。小川町の魅力は数多くの産業によって構成されている。長い年月をかけて醸成されてきた小川町の数々の魅力の裏には常に水があった。水が大地を削り、盆地を作り出し、土壌を潤し、それを人々は利用してきた。水で編まれてきた、小川町の魅力のネットワークを描く。



立派な茅葺古民家が残る生活する建物の部材も周囲の自然からの恵



古民家



そうめん

竹沢地区では竹を利用したすいのつが昔はよく作られた



すいのつ

七夕、マラソン 今も和紙を使って催しが



野鳥

山の向こうではワイン造りが始まる新しい事業が始まる土地



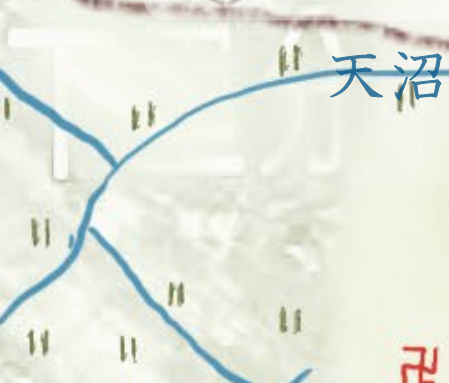
ワイン

鉄道などの交通網の発達 集合住宅地の開発が進んだ



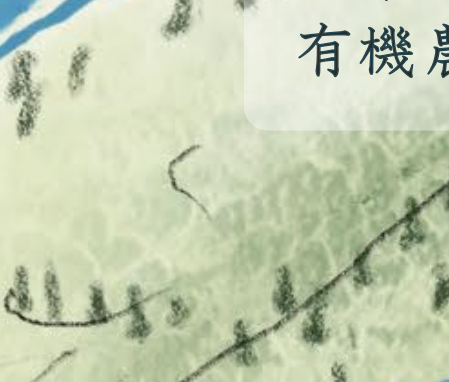
交通

至る所のため池と水路 小川が



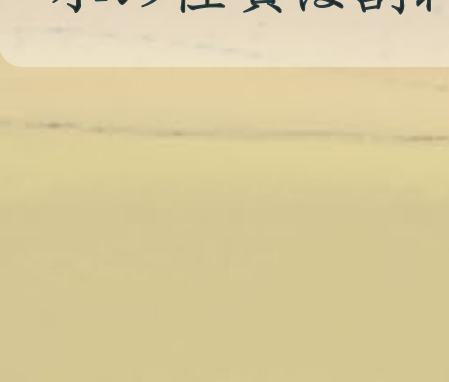
水運

下里地区は 化学肥料を使わない有機農業の聖地



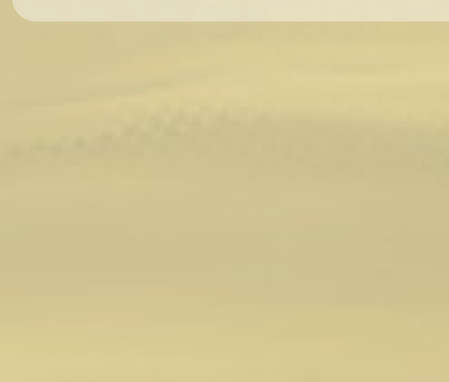
畜産

地下水で造られる日本酒 水の性質は割れやすい地質によるもの



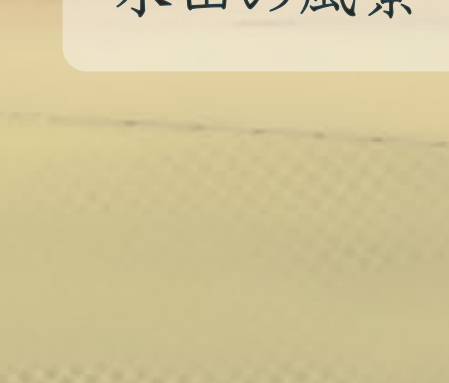
日本酒

小川町は地質の博物館



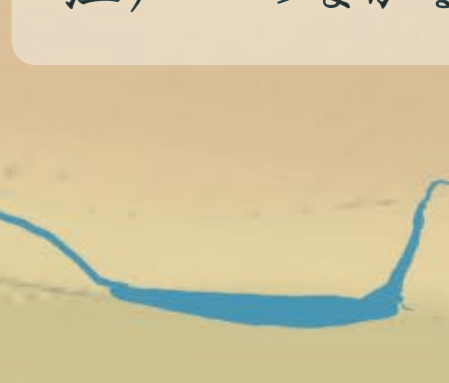
化石

谷戸地形に広がる水田の風景



水田

荒川へ流れ込む槻川 江戸へつながる秩父往還



米